

# 大洋州のゴミ問題に飯塚市の企業が挑む！

## ～ 炭化技術をパプアニューギニアの廃棄物処理に活用 ～

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において五友エコワークス株式会社(福岡県飯塚市、山崎正一代表取締役)が提案する「炭化装置による有機廃棄物の削減と再利用による循環型社会構築のための案件化調査」(パプアニューギニア)を採択しました。

パプアニューギニアでは経済発展に伴い都市部への人口流入が続き、その結果、廃棄物量も急速に増加しています。廃棄物最終処分量の削減は喫緊の課題として挙げられ、特に工業・産業廃棄物の約半数、家庭廃棄物の約1/4を占める紙類廃棄物処理に対し、十分な対策が追い付いていません。

同社は、このようなゴミ問題の解決に向け、あらゆる有機廃棄物を炭化し、付加価値の高い高品質な炭と酢液を同時に製造する炭化装置「エコ炭くん」をパプアニューギニアへの導入を検討するため、現地で同製品のデモンストレーションを行い、紙類の炭化と製造される酢液を分析し、その有効性を確認する計画です。



提案製品の「エコ炭くん」概観



パプアニューギニアの最終処分場の様子

なお、本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」(注)として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

(注) 案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行うもの。企業は、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を行う。2012年度から実施されており、2017年度第2回分は今年9月に公示を行い、33件が採択。

参考:(プレスリリース)案件化調査2017年度第2回公示の採択結果について

[https://www.jica.go.jp/press/2017/20171226\\_01.html](https://www.jica.go.jp/press/2017/20171226_01.html)

### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA九州国際センター 市民参加協力課 担当: 大園、山下

TEL: 093-671-8204 e-mail: Ozono.Momomi@jica.go.jp